

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	1. 正の数、負の数	・正の数、負の数	5	・0より小さい数があることを知る ・正の数、負の数の意味を理解する
	5		・正の数、負の数の計算	18	・正の数、負の数の大小を理解する ・加法、減法の計算方法を理解し、それらの混合計算ができるようになる ・乗法、除法の計算方法を理解し、それらの混合計算ができるようになる ・数の範囲を広げたときの四則計算を理解する
	6		・正の数、負の数の利用		・自然数を素数を使って積の形で表すことができる ・仮平均を定め、平均を求められるようになる
	7	2. 文字の式	章末問題	2	
			・文字を使った式	7	・数量を文字を使い、表すことができるようになる ・きまりに従って書くことができるようになる
			・文字式の計算	8	・式の値の意味を理解し、計算できるようになる ・一次式の加法、減法の計算ができる ・一次式の乗法、除法の計算ができる
	7	3. 方程式	章末問題 ・方程式	2 8	・いろいろな数量の大小関係を等式、不等式を用いて表すことができるようになる ・方程式およびその中の文字や解の意味を理解する ・等式の性質を理解する
2	9	4. 変化と対応	・方程式の利用	6	・等式の性質を使ったり、移項して方程式を解くことができるようになる ・比が等しい関係と比例式を理解し、計算できるようになる ・方程式や比例式を使って、身近な問題を解決できる
	章末問題		2		
	・関数		2	・関数とはどういうものかを理解する	
	・比例		6	・比例の特徴を式の形でとらえることができる ・座標の意味を理解し、点を座標平面上に表すことができるようになる ・比例の関係をグラフに表すことができる	
	11	5. 平面図形	・反比例	5	・反比例の特徴を式でとらえることができる ・反比例の関係をグラフに表すことができる
	・比例、反比例の利用		5	・いろいろな事象から比例、反比例の関数を見出し、式やグラフで表し、問題を解決できる。	
	章末問題		2		
	・直線と図形		3	・直線や線分、用どその表し方など、直線図形に関する基本的な用語や記号を理解する ・2直線の位置関係について理解する ・点と直線の距離を理解する	
	12		・移動と作図	8	・移動の数学的な意味する基本性質を理解する ・定規とコンパスを使って基本的な作図ができるようにする
	・円とおうぎ形		5	・基本的な作図を使い、3点を通る円の中心や2辺からの距離が等しい点等を作図できるようになる ・おうぎ形がどのような図形か理解する ・おうぎ形の弧の長さや面積は中心角の大きさに比例することを理解する	
	章末問題		2	・円の接線、弧、弦の意味を理解する ・円とおうぎ形について、円周や弧の長さ、面積を求められるようになる	
			2		
3	1	6. 空間図形	・立体と空間図形	11	・立体の意味、角錐、円錐、多面体、正多面体について理解する ・空間における直線と平面、2直線、2つの平面の位置関係を理解し、平面の決定条件を理解する
	・立体の体積と表面積		6	・回転体について理解する ・体積を求める公式を理解し、実際に体積を計算することができる ・表面積の求め方を理解し、実際に表面積を計算することができる	
	2	7. データの活用	章末問題	2	
	・ヒストグラムと相対度数		8	・ヒストグラム、胴体度数、帯図、系統度数はこの必要性と意味を理解する ・データを相対度数や系統相対度数を用いて整理する ・グラフで表すことができる	
	・データにもとづく確率		3	・度数分布表から平均値を求めることができるようになる ・多数の観察や多数回の試行に基づく待っている確率の必要性と意味を理解する ・多数回の試行の結果から、相対度数を計算し確率を求めることができる	
3	1年生の復習	章末問題	2		
				11	